

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○望ましい人間関係のもと、主体的に学び、考えることを大切に、協働的に学び合いながら、他とかかわる力や表現力などの能力を伸ばしていく指導のあり方を探る。  
○特別支援教育の視点を踏まえ、どの生徒にも楽しく分かる授業を創造する。

鷺敷中学校  
「学力向上実行プラン」

【小中連携または中高連携における共通の取組】

根拠や理由を明らかにしながら自分の考えや意見を表現させる。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていたり、与えられた課題にも真面目に取り組んだりすることができる。 ●学習の過程を通して習得した知識等を振り返る際、内容を整理することに課題がある。	①各教科での小テストで合格する。 ②漢検・英検への挑戦をする。 ③反復練習をすることで基礎的な知識・技能が定着している。	①授業開始時にめあてを示し、授業終了時に振り返りを行う。 ②ノートやワークで理解度を確認する。 ③振り返りとなる小テストや反復練習を実施する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

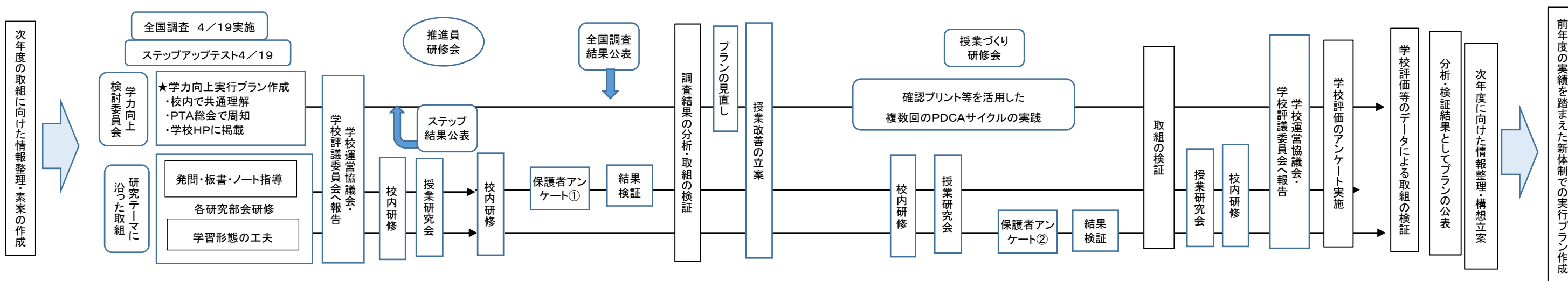
児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる。 ●身に付けた知識・技能を、他の学習や生活の場面に関連付けたり活用したりすることに課題がある。	①根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えや意見を的確にまとめ、わかりやすく適切に表現し、TPOに応じた言葉遣いで話すことができる。 ②課題に対して最後まで粘り強く取り組み、解決することができる。	①デジタル教科書やICTを活用する。 ②TTによる学習支援や個別指導を行う。 ③班活動などの主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業において、与えられた課題に対して、一生懸命取り組むことができる。 ●自分の学習の状況を振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することに課題がある。	①共に学び合い、伸びようとする主体的な行動ができる。 ②家庭学習が充実している。	①授業中学生徒が意欲的に発表する機会を設定する。 ②自主勉強ノートを活用して、家庭学習を定着させる。 ③セミナーテストを行い、家庭学習の内容を明確化する。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月



学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
---------	----

校長

矢野

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。